

ステークホルダー図を用いた新DX推進人材モデルの構築 およびDX推進体制の提案

森島 沙央梨（富士通）
 米田 尚樹（JPX総研）

高淵 智史（NTTデータアイ）
 松井 慧（NTTデータアイ）

DXレポートにおける課題

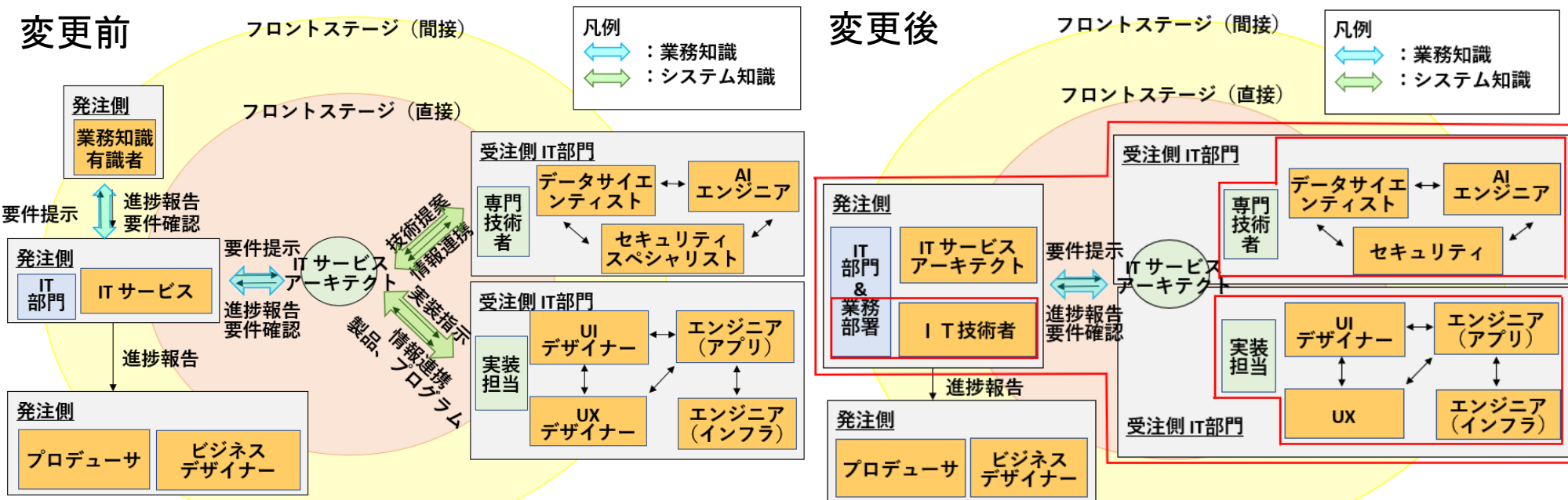
- ・現在のDX人材像にはフルスタック人材像※が含まれている可能性がある。その場合、DX人材になるまでの負荷が高くなってしまう。
 - ・現在のITエンジニアが目指すべきDX推進人材像が明確になっていないため、修得すべきスキルがわからない。
- ⇒ スムーズなDX推進人材への移行が出来ない。

手法・ツールの適用による解決

- ・ステークホルダー図を用いて関係性を図示し、フルスタック人材の含まれない新しいDX推進人材モデルを検討した。
- ・ステークホルダー図の分析により、発注側、受注側で分断されている開発体制を1つのチームに統合することで効率化、経験蓄積の実現可能性を高めた。

※ フルスタック人材の定義 : 技術面・ビジネス面(事業理解・経営)など、必要となるスキルが多岐にわたっている人材

新DX推進人材モデルに基づくDX推進体制の提案



- 変更点**
- ・発注側 : 業務部署内にてIT技術者育成を行い要件定義書作成 及び 受注側とのQA対応に参画する。
 - ・受注側 : ITサービスアーキテクトが全ての窓口であったため、専門技術者、実装担当を含めワンチームでやり取りを実施するよう変更する。

新DX推進人材モデル

DX人材像での職種	プロデューサー	ビジネスデザイナー	業務部署 IT技術者	IT サービスアーキテクト	UI/UXデザイナー	セキュリティスペシャリスト	データサイエンティスト/AIエンジニア	エンジニア (アプリ/インフラ)
相当する役職	CDO (最高デジタル責任者) / 部長級	企画部署	業務部門 IT有識者	IT部門	IT部門SE	技術スペシャリスト	技術スペシャリスト	開発部門インフラSler or クラウド基盤利用
必要スキル	プレゼン力	プレゼン力	プレゼン力	プレゼン力	—	—	—	—
	既存の社内のビジネス・商品の理解	既存の社内のビジネス・商品の理解	既存の社内のビジネス・商品の理解	既存の社内のビジネス・商品の理解	—	—	—	—
	人脈 (社外含む)	企画力・発想力	—	—	—	—	—	—
	部署間調整力	—	—	—	—	—	—	—
システム系	デジタルリテラシー	デジタルリテラシー	デジタルリテラシー	デジタルリテラシー	デジタルリテラシー	デジタルリテラシー	デジタルリテラシー	デジタルリテラシー
	—	—	設計スキル	設計スキル	設計スキル	設計スキル	設計スキル	—
	—	—	—	—	UIデザイン知識	先端技術知識 (セキュリティ)	先端技術知識 (ビッグデータ/AI)	—
	—	—	—	実装スキル	実装スキル	実装スキル	実装スキル	実装スキル

ITサービスアーキテクトのフルスタック性を解消し、DX人材へのスムーズな移行に繋げるモデルを提案出来た。

今後の課題

- ・理想とする関係図を描くことができたため、DX推進人材の育成方法検討・検証を進める。
- ・より一層実現可能性を高めるため、IPAの提示するデジタルスキル標準のような細かい粒度での必要スキル抽出について検討を行う。